



本会議での討論
(2023. 6. 16)

第211回国会閉会 物価高&子育てと向かい合った150日間

6月21日に第211回通常国会が閉会しました。開会中の皆さまからの力強いご支援ご協力に感謝を申し上げます。今国会は、物価高対策と子育て支援策、賃金の底上げに注力した国会でした。

国民民主党が提案した家庭の電気代支援や特別高圧電力・LPガスへの追加支援が実現しました。

また、矢田わか子前参議院議員を中心に取り組んできた児童手当の所得制限撤廃がついに政府の政策の中に取り入れられたことも大きな成果です。

しかしながら、障害者福祉の所得制限撤廃や教育無償化等、取り組まなければならない課題が残っています。子育て現役世代の皆さんの声に応えるためにも、引き続き取り組んでまいります。



児童手当拡充のポイントは？ 国会 Q&A

所得制限の撤廃や高校生までの支給、第3子の増額が発表されましたが、裏付けとなる財源確保については、十分な議論が年末に先送りされたんだ。

児童手当が
大幅拡充!
でも**注意**が必要です!

動画で解説!



0603

2023年6月3日

第4回エネルギー政策研究セミナーを開催！

原子力関連産業に携わる多くの皆さまにご参加いただきました。

6月3日、久慈サンピア日立にて第4回エネルギー政策研究セミナーを開催しました。

国会でGX関連法案が成立した直後のタイミングとなり、その内容について、前回に引き続き、経済産業省資源エネルギー庁原子力政策課の遠藤量太氏をお招きし、ご講演いただきました。

「GX推進法」は、世界で激化している大規模なGX分野への投資競争に対応するため、20兆円規模の政府支援を行うための「GX移行債」の発行やカーボンプライシング制度の創設、また「GX脱炭素電源法」は、メガソーラーを建設する時の規制強化や原子力発電所の運転期間に関する制度改定で、国民民主党が修正を求めた安全を大前提とした**審査の効率化**が盛り込まれました。



GX推進法

- 「GX移行債」を20兆円発行
- 今後10年間で官民投資150兆円
- 化石燃料の輸入業者などに負担金
- 電力会社などに排出枠の購入求める

カーボンプライシングや20兆円の政府支出で企業の脱炭素投資を促す(150兆円規模)

GX脱炭素電源法

- 原子力発電所の運転期間を60年超に延長
- 運転開始から30年超えたら10年毎に規制委による審査
- 法令違反の再エネ事業者に厳しく対処
- 廃炉推進へ電力会社に費用の拠出を義務付け

発電時にCO2を排出しない原子力発電所の活用を拡大



今後の原子力政策について説明する遠藤氏

0620

2023年6月20日

緊急家計支援パッケージを申入れ！



西村経済産業大臣に申入れを行いました。

日本は現在、急激かつ継続的な物価高に直面しています。

今年9月には電気料金およびガソリン代に対する政府支援が終了する予定のため、10月以降は更なる負担増が見込まれます。暮らしと経済を支えるためにも、6月20日に国民民主党は**物価高対策／熱中症予防の緊急家計支援パッケージ**を取りまとめ、西村経済産業大臣に申入れを行いました。



電気代を下げる

- 電気料金・LPガス料金等の激変緩和策の半年延長
- 再エネ賦課金の徴収停止
※再エネ賦課金の在り方を抜本的に見直し、年度内に具体化
- 省エネ住宅構築支援策の拡充

ガソリン代を下げる

- ガソリン補助金の半年延長
- トリガー条項の凍結解除
※暫定税率の廃止を含め理髪油税等関連税制を抜本的に見直し、年度内に具体化
- クリーンエネルギー自動車購入促進補助金の補強

水道代を下げる

- 地方創生臨時交付金による水道料金の減免

第211回国会における役割

- 所属委員会
- ▶ 議院運営委員会
 - ▶ 内閣委員会
 - ▶ 原子力問題調査特別委員会
- 党内での所属調査会
- ▶ エネルギー調査会 (会長)
 - ▶ 税制調査会 (事務局長)
 - ▶ 国会対策委員会 (委員長代理)
 - ▶ 政治改革本部 (事務局長)

浅野さとし 略歴

- ▶ 1982年9月生まれ (40歳)、衆議院議員 (2期)
- (株)日立製作所日立研究所 研究員
- 日立労組研究所支部 執行委員
- 大畠章宏元衆議院議員秘書



SNSにて日々、情報発信中！ 浅野さとしの活動をぜひご覧ください！



YouTube



Facebook



Instagram



Twitter



LINE